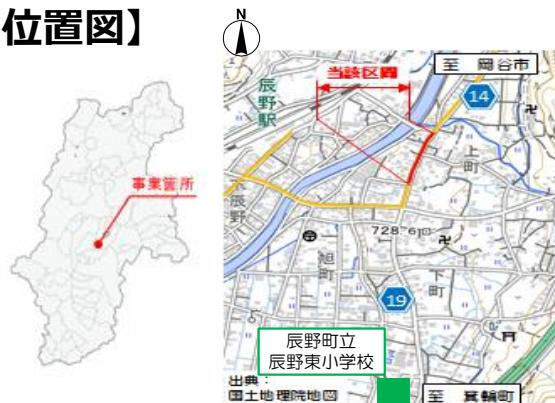


通学路の交通安全対策による効果（長野県辰野町 主要地方道下諏訪辰野線）

- 歩道が狭い通学路において、狭い歩道を児童が歩行し、車道にはみ出した歩行者を避けようと急ハンドルが発生するなど事故の危険性が高い区間が存在
- 千葉県八街市の事故を受けた対策として、令和5年3月に歩道整備が完了し、整備区間において、自動車の急ハンドルが約1割減少するなど事故リスクの低減効果を確認

【位置図】



【対策前の課題】

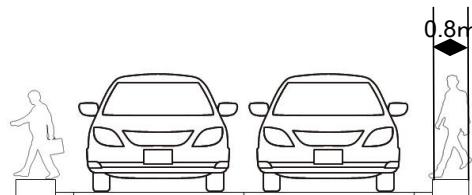


【対策前後の状況】

対策 前

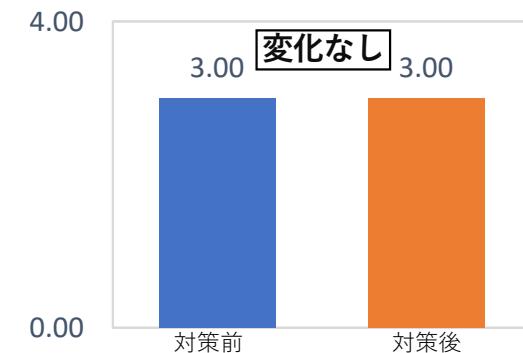


対策 後



【ETC2.0データによる効果検証】

▼前後加速度（急ブレーキ）
(件/千台キロ)
※区間全体



▼左右加速度（急ハンドル）
(件/千台キロ)



※急挙動データ

- ・前後加速度:急ブレーキに係る指標（-0.3G以上）
- ・左右加速度:急ハンドルに係る指標（±0.3G以上）

※ETC2.0プローブデータ抽出期間

【対策前】R3.4.1～R4.3.31 平日（7時～9時、14時～18時）
【対策後】R6.4.1～R7.3.31 平日（7時～9時、14時～18時）